



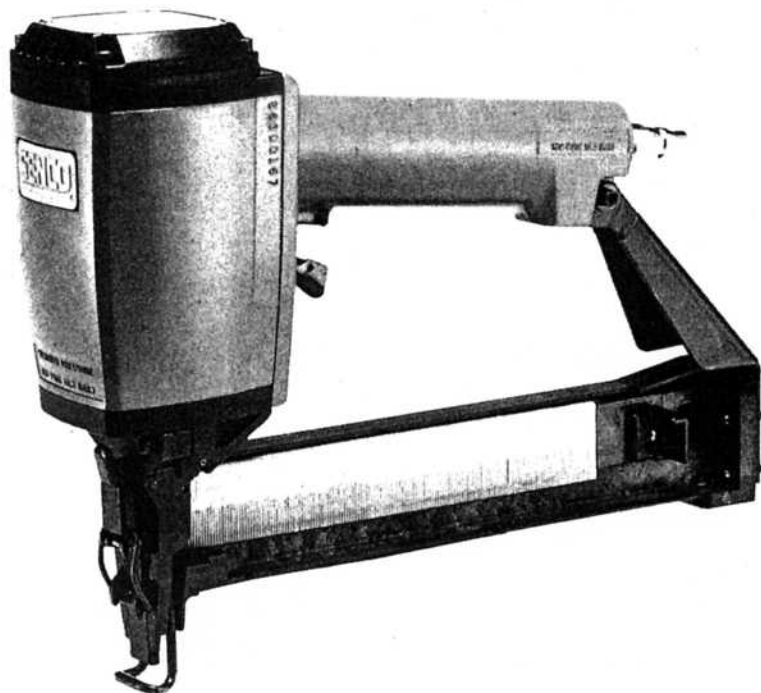
エアタッカ

SKS-32・SKS-38・SKS-KG25・SKS-KG38

取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

6981571



●ご使用に当たりますの注意事項

ご使用前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないで下さい。

- 乾燥したきれいな圧縮空気のみを使用して下さい。湿気、及びゴミが本体に入りますと、潤滑油が洗い流され、Oリング類の摩耗が激しくなりますので、コンプレッサーのタンク内及びエアフィルターの排水作業を欠かさないで下さい。又、空気以外の高圧ガスを使用しますとレギュレーターを凍結させたり、潤滑油との接触、又はステープル打込時の火花により、爆発する恐れがあり大変危険です。
- 本機、及びコンプレッサーを揮発性可燃物(シンナー、ガソリン等)の近くで使用しますと、吸入、圧縮され、又はステープル打込時の火花により、爆発を生ずる恐れ

ご使用に当たりますの注意事項

ご使用前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないで下さい。

乾燥したきれいな圧縮空気のみを使用して下さい。湿気、及びゴミが本体に入りますと、潤滑油が洗い流され、Oリング類の摩耗が激しくなりますので、コンプレッサーのタンク内及びエアフィルターの排水作業を欠かさないで下さい。又、空気以外の高圧ガスを使用しますとレギュレーターを凍結させたり、潤滑油との接触、又はステーブル打込時の火花により、爆発する恐れがあり大変危険です。

本機、及びコンプレッサーを揮発性可燃物(シンナー、ガソリン等)の近くで使用しますと、吸入、圧縮され、又はステーブル打込時の火花により、爆発を生ずる恐れ

- 必ず指定された範囲内の圧力でご使用下さい。圧力のかけ過ぎはシール類の摩耗を早め、損傷をまねきます。
- ご使用前には必ずネジ類、及びキャップがしっかりと締付けられているか点検して下さい。締付けが不完全な状態で使用しますと、破損する恐れがあり大変危険です。
- ステーブル打込時以外には絶対にトリガーに触れないで下さい。
- 薄板にステーブルを打込む場合は、つき抜けることがありますので、薄板の裏側に、人、身体の一部が無いことを確認した上で、作業を行って下さい。又、木材の角を打つ場合はステーブルがそれることがありますのでご注意下さい。
- いかなる場合でも、ステーブル射出口を、自分、及び他人の方へ絶対に向けしないで下さい。大変危険です。
- 排気圧による粉塵の舞い上り、又は打ち損じのステーブルのはね返りで目に入ると危険ですので、必ず保護メガネをご使用下さい。
- 作業中、調子が悪かったり、異常に気づいた時は、直ちに使用を中止し、点検を行って下さい。
- ステーブルのテスト打ちは必ず作業面に向けて行って下さい。ステーブルを装填しない状態で空打ちした場合は、ピストンダンパーの摩耗をまねく恐れがあります。
- 安全作業を行なう為に、ヘルメット、作業シューズを使用する等の周囲の環境に合わせた防具を整えて下さい。
- 作業を行なわない時、及び修理の際には、必ずエアチャックを取外して下さい。
- 本機、及びコンプレッサーは、直射日光に長時間あてた状態で使用、又は放置しないで下さい。
- 作業を中断する場合、及び使用後は必ずステーブルを全部抜き取って下さい。
- 製品は大事に取扱って下さい。誤って落したり、ぶつけたりした場合は、異常の有無を確認した後、ご使用下さい。
- 安全な作業をする為には、作業場はいつもきれいに整理をし、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- 作業場所には作業関係者以外は近づけないで下さい。
- 純正のステーブルをご使用下さい。規格に合わないステーブルを使用しますと、ステーブルづまり、本体各部の損傷の原因となります。
- 部品交換の際は、当社指定の部品をご使用下さい。間に合わせの部品を使用しますと、安全性を欠き、十分な能力を発揮せず、本体損傷の原因になります。
- 安全で能率よく作業をしていただく為には、清掃、注油を定期的に行なって下さい。点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ東和各営業所にお問い合わせ下さい。

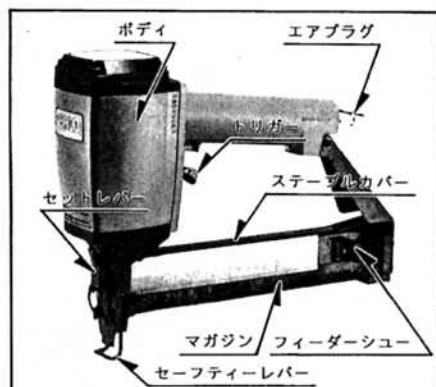
●用途

家具用引き出し・スリ棧・天板・台輪・建築用野地板・ラス下地板・仏壇・流し台・キャビネット・製函・梱包・スプリング止め・スチールラス止め・ラスボード張り・ビル内装用チャネル張り。

●仕様

動力方式	ピストン往復式
ステープル装填数	104本
発射方式	タッチファイア (安全装置付)
打込速度	300本/分 (最高)
使用空気圧	5～7 kg/cm ²
使用ホース内径	6 mm
製品寸法 (mm)	314×238×76(長さ×高さ×巾)
製品重量	1.9kg

●各部の名称



●使用ステープル

ステープル 呼称	適用モデル				ステープル寸法 (mm)				
	SKS-32	SKS-38	SKS-KG25	SKS-KG38	H	J	K	L	
L11	○				6.4	1.3	1.1	19	
L12	○	○		22					
L13	○	○		25					
L15	○	○		32					
L17		○		38					
N10			○		11.1	1.6	1.4	16	
N11			○	19					
N12			○	22					
N13			○	25					
N15			○	32					
N17			○	38					

※適用モデル欄(○)が使用できるステープルです。

●通常付属品

- 六角レンチ 5/32"
- 六角レンチ 9/64"

●特別付属品(別販売)

- ウレタン製エアホース
1/4" (6 ϕ)×20m
- コイルホース
6 ϕ ×3.75m

●ご使用前の確認

- 安全確認
ご使用前には必ず安全諸項目の確認を行ない、保護メガネを使用して下さい。
- 空気圧力の確認
必ず指定された範囲内の圧力に調整してご使用下さい。

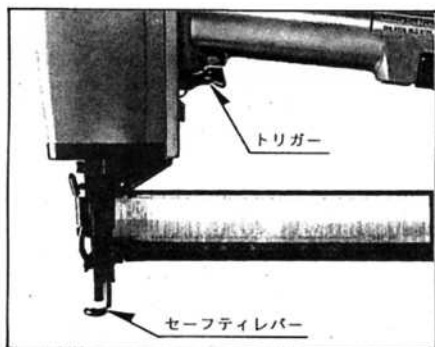
本機では通常使用時の給油は不要ですので、本体への給油はしないで下さい。

●使用空気圧

- 本機の使用空気圧は5～7 kg/cm²ですので、この範囲内で使用して下さい。
使用空気圧以上でご使用になりますと、シール類の摩耗を早め、各部の損傷をまねく恐れがありますので絶対に避けて下さい。
- 打込対象材の硬軟、使用ステープルの長短により、若干使用空気圧が異なりますので、作業前にテスト打ちを行ない、ステープルの頭が打込対象材と面一になるようにレギュレーターで圧力調整を行なって下さい。

●安全装置

- 本機はセーフティレバーを打込対象材に押し付けた後、トリガーを引くか、トリガーを引いた後、セーフティレバーを打込対象材に押し付けしないと、ステープルを発射しない安全構造になっております。

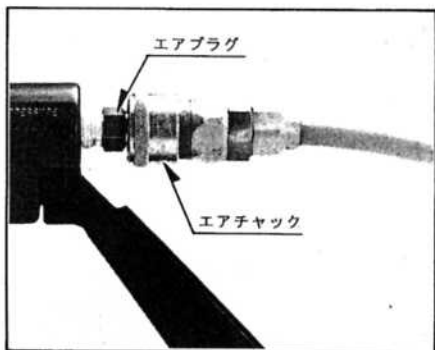


●エアホースの接続方法

エアプラグにエアチャックを接続して下さい。

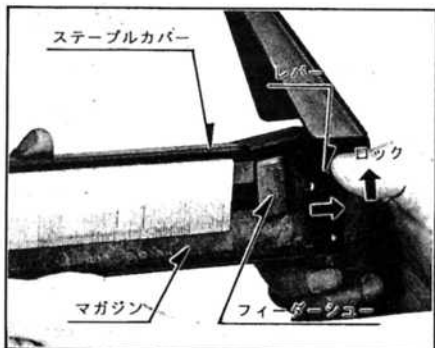
〈ご注意〉

エアホースを接続する時には、絶対にトリガーには触れないようにし、ステープル射出口を、自分及び他人に向けないようにして下さい。又セーフティレバーは押された状態にしないで下さい。



●ステープルの装填方法

- ①フィーダーシューのレバーを後方へいっぱい引き、上方にあげてください。フィーダーシューはマガジン後方にロックされ、ステープルカバーが横に開きます。
- ②マガジンの上側からステープルをマガジンレールに装填します。
- ③フィーダーシューのレバーを押し下げフィーダーシューをマガジン後方にロックされた状態から解放してください。



●打ち込み方法

- 絶対にステーブル射出口を、自分及び他人には向けないで下さい。
- 一度打込んだステーブルの上に、ステーブルを打込みますと、ステーブルがはね返る恐れがあります。
- セーフティレバーの押し付け力が弱いとセーフティレバーが十分作動せず、ステーブルは発射されません。

〈断続打〉(シングルファイア・タッチファイア)

ステーブルを打込む個所にセーフティレバーを押し付けた後、トリガーを引けばステーブルは発射されます。

〈連続打〉(タッチファイア)

トリガーを引いた状態で、セーフティレバーをステーブルを打込む個所に押し当てると、ステーブルは発射されます。

〈水平面に打込む場合〉

前進しながら作業を行なって下さい。安全で疲れが少なく、能率的に作業が出来ます。

〈高所作業を行なう場合の注意〉

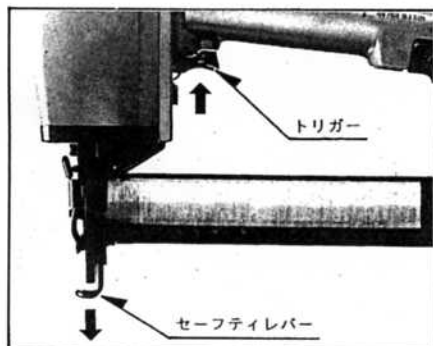
高い場所で作業を行なう場合にはホースが不用意に引っぱられたり、引っかかるのを防止する為、作業場の近くにホースの固定個所を設けて固定して下さい。

●ステーブル詰まりの直し方

- ①ステーブル詰まりを取り除く前には必ず、エアチャックを外した後、マガジン内のステーブルを取出して下さい。
- ②セットレバーを外します。
- ③フロントプレートを開け、ドライバートラックにつまったステーブルをベンチ、⊖ドライバー、針金等を使用して取除いて下さい。
- ④取除きましたら、フロントプレート、セットレバーを元の状態にし、ステーブルを装填して下さい。

●ドライバーの清掃

ドライバーは、時々清掃を行ない、

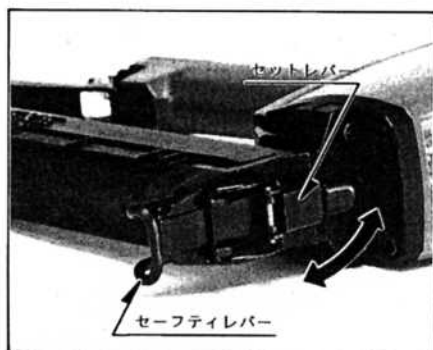


〈傾斜面に打込む場合〉

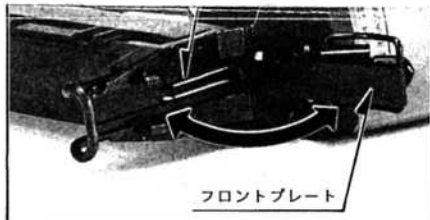
下から上に向かって作業を行なって下さい。逆方向に作業を行なう場合は足を踏み外す危険があります。

〈垂直面に打込む場合〉

上から下に向かって作業を行なうと疲れが少なく、能率的に作業が出来ます。



摩耗が進んだ場合は交換を行なって下さい。ドライバーにゴミが付着すると、リターン不良の原因となります。



●配管上の注意

- 本機の能力を十分に発揮出来るコンプレッサーをご使用下さい。
- エアホースは6mm以上のものを使用し、長過ぎると圧力低下の原因となりますので、出来るだけ短かくして下さい。
- 本機を最適なエア条件で使用する為にエアフィルター、レギュレーターを取付けるようにお奨めします。

エアフィルター…エアのホコリや水分を取除く働きをします。

レギュレーター…ステープル打込みに必要な一定空気に調整出来る減圧弁。

この製品は、一貫した品質管理のもとに組立てられ、厳密な検査に合格した製品です。万一の故障の場合、その他取扱上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げ店、最寄りのリョービ電動工具販売店、もしくはリョービ東和(株)営業所にお問い合わせ下さい。

※改良のため製品仕様が変わる事があります。

発売元

 **リョービ東和** 株式会社
RYOBI

 **リョービ** 株式会社
RYOBI